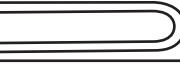
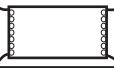


部材表

サイクルハウス3台用

【2409】

*裏面『安全上のご注意』を先にご確認ください。寸法 間口 156cm 奥行き 220cm 高さ 165cm

No.	品名	数量	規格	形 状	No.	品名	数量	規格	形 状
①	前後ベース用パイプ①	2	19.1φ 79 Tcm	丸みがない T丸み	⑩	樹脂ジョイント	4	BJ-7	
②	前後ベース用パイプ②	2	19.1φ 79 TEcm	丸み E拡管	⑪	樹脂ジョイント	2	BJ-29	
③	横ベース用パイプ	6	19.1φ 70 TTcm	丸み T丸み	⑫	樹脂ジョイント	2	BJ-28	
④	脚用パイプ	8	19.1φ 103 TTcm	丸み T丸み	⑬	絞りリング	4	19φ用	
⑤	横通し用パイプ	6	19.1φ 70 TTcm	丸み T丸み	⑭	ケーブルタイ	1袋	(60本入り)	
⑥	アーチ用パイプ	8	19.1φ 109 ATTcm	アーチ加工	⑮	U字杭	4	10×24 mm cm	
⑦	天井横通し用パイプ	3	19.1φ 70 TTcm	丸み T丸み	⑯	天幕	1		
⑧	樹脂ジョイント	4	BJ-5		⑯	前幕・後幕	各1		
⑨	樹脂ジョイント	8	BJ-9						

T: ジョイント差込む用に、パイプ先端が丸く加工されています
A: 曲管になるようにアーチ加工されています

E: パイプ内に、パイプが差し込むよう、先端が広い筒状に加工されています

必要な工具



プライヤー
部品の取付けに



はさみ
部品袋開封に



ゴムハンマー
樹脂ジョイントとパイプの差込みに



セットハンマー
U字杭の打込みに



スケール
(寸法計測用)



サイクルハウス 3台用
サイクルハウス SN-4型 は、

同じ骨組寸法になりますので
替幕(前幕、天幕、後幕)は
共通でお使いいただけます。

替幕

(天幕・前幕・後幕)
は、単品販売しております。

替幕(天幕・前幕・後幕)のお求めは、本商品をお買い求めいただきました販売店様か、
弊社サイクルハウスをお取扱いいただいております販売店(ホームセンター・オンラインショップ)
様から、お問合せ、ご注文いただけます。



製造
発売元
南榮工業株式会社



安全上のご注意

この「安全上のご注意」では、お客様や人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用頂く為に守つて頂きたい事項を示しています。ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、内容をご理解の上、正しく安全にご使用頂きますようお願い致します。

⚠️警告

この項目の内容は「人が死亡または重傷^{※1}を負う可能性が想定される内容」を示しています。

※1「重傷」とは、失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期通院を要するものを指します。

④禁止 固定を行わない設置

弊社取扱製品は、設置にはすべて「支柱の埋込」または「ベースに鉄筋杭やアンカーの打ち込み」による固定が必ず必要となっております。

固定を行わずに置くだけの設置をすると、強風時などに倒壊・吹き飛ばされるなどの事故の原因となります。必ず固定して設置してください。

また、設置場所がコンクリート・アスファルトまたはタイル等の場合や設置場所の地面が固く締まっている場合、アンカーを打つ場所に、先に下穴を開ける必要があります。これらの場所に固定用アンカーの下穴を開ける場合は、振動ドリルなどの工具が必要になります。こういった工具をお持ちでない場合は、お近くの工務店、エクステリア業者等にご相談して設置してください。

④禁止 建物の屋上・テラス・ベランダ等の高い場所への設置

これらの場所は固定が行えないだけでなく、強風が吹いた場合、製品が落下したり吹き飛ばされたりして、人が死亡または重傷を負ったり、周囲に損害を与えるおそれがあります。このような場所には絶対に設置しないでください。

④禁止 風が強い場所への設置

強風(ビル風・川風・海風・高い場所等)にさらされる場所を避けて設置してください。このような場所では周囲よりも強く風が吹くことがあります。思わぬ損傷を受け、事故につながるおそれがあります。また、設置場所によっては、付属の固定クイでは、強度が不足する場合がありますので別途補強を行って設置してください。

④禁止 積雪・落雪がある場所への設置

豪雪地帯のような毎年積雪のある場所では、雪の重さによって製品が損傷(シート・ネットが破れる・倒壊等)するおそれがあります。また、屋根など高い所から雪が落ちる場所へ設置すると、落した雪の重さに耐え切れずに製品が損傷・倒壊するおそれがあります。

④禁止 傾斜地・凹凸のある場所・軟弱な地盤の場所への設置

傾斜のない平坦な場所に設置してください。傾斜地・凹凸のある場所には安定して設置できません。また、地盤が軟弱なところでは、固定を行えない為設置できません。

④禁止 火の影響を受ける場所への設置

焼却炉の付近等、火気の近くには設置しないでください。

④禁止 幹線道路・線路の付近への設置

強風が吹いた場合に付近の自動車や列車に衝突して重大な損害を与えるおそれがあります。

④禁止 変電所・高圧電線付近への設置

強風が吹いた場合、吹き飛ばされた部材が電気施設に重大な損害を与えるおそれがあります。

④禁止 その他危険な場所への設置禁止

上記以外でも危険があると思われる場所には絶対に設置しないでください。

④禁止 悪天候時の設置・補修作業

悪天候時の組立・補修作業を行わないでください。災害の原因となるおそれがあります。

④禁止 素手での設置・補修作業

組立・補修作業を行う時は、安全の為必ず手袋をはめて作業をしてください。

④禁止 シートを張る作業について

弊社製品本体のベースを固定してから、シート・ビニール・ネット等を張ってください。ベースを固定せずにシート・ビニール・ネット等を設置すると本体が移動することで、シートやヒモが緩むなどの理由で、製品が損傷し事故の原因となるおそれがあります。

④禁止 目的外の使用禁止

弊社取扱製品は各製品の使用目的を守つてご使用ください。他の用途には絶対に使用しないでください。特に子供の遊び場等には絶対に使用しないでください。

④禁止 火気禁止

弊社取扱製品の付近や内部では絶対に火気(コンロ・石油ストーブ・バーナー・溶接機等)を使用しないでください。パイプ車庫前後幕付きご使用の場合は、前幕を開けるなどして換気を十分に行い、マフラーがシートに近づきすぎないようにご注意ください。

④禁止 危険物の貯蔵禁止

危険物(可燃物・劇物・薬物・毒物・ガソリン・ガスボンベ・シンナー・塗料等)を保管しないでください。また、これらの危険物を積載した状態での車両の保管もおやめください。

④禁止 換気に注意

内部でエンジンのアイドリングを行わないでください。一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、揮発性の薬品やガス等を使用しないでください。内部で発電機やポンプ等、エンジンを使用した場合、送風機等を使い、換気を必ず行ってください。

⚠️注意

この項目は「人が傷害^{※2}を負う可能性が想定される内容や、物的傷害^{※3}の発生が想定される内容」を示しています。

※2「傷害」とは、治療に入院や長期通院を要しないけが・やけど(高温・低温)・感電等を指します。

※3「物的損害」とは家屋・家財及び家畜・ペットにかかる拡大損害を指します。

④注意 パイプに物を掛けない。

構造材のパイプに物を掛けたり、ぶら下がったり、物を吊るす等余計な力・重量を加えないでください。

④注意 操作に関するご注意

開閉できる幕がある場合は、車の出し入れ時以外は必ず閉めてください。幕が開いていると、風に吹かれて車庫内部の車を金具等で傷つける恐れがあります。

④注意 強風の場合

強風時は天気情報などを参考に、前もってシート・ビニール・ネット等は外し、まとめてロープ等で骨組みに止めてください。シート・ビニール・ネット等をそのままにしておくと、破損したり、フレームに損傷を与える恐れがあります。台風等で災害が予想される時は、パイプ車庫・パイプ倉庫・ビニールハウス・ゴルフ練習ネット等、固定して設置してある場合でも、シート・ビニール・ネット等を外し、畳んで収納してください。

④注意 雪が降っている場合

雪が積もった場合は、隨時雪降ろし作業を行ってください。シート上に雪が積もっている場合は、雪の重さで倒壊する危険がありますので、内部には絶対に入らないでください。内部に入る前に、必ず雪降ろしを行ってください。

④注意 仕様変更

商品改良の為、仕様を予告なく変更することがあります。

■メンテナンス(保持管理)について

弊社取扱製品はいくつかの点を定期的にメンテナンス(保持管理)を行う必要性があります。長期間メンテナンス(保持管理)を行わずに使用を続けると不調の原因となる場合があります。製品を設置された後は、危険防止措置を含むメンテナンス(保持管理)をお客様の責任において行ってください。

④注意 アンカー・固定ひもの点検

弊社取扱製品を固定しているアンカーがぐらついたり抜けている箇所がないか、また固定ひもが切れたり、緩んだりほどけている箇所がないか、定期的に確認してください。アンカーや固定ひものに問題を見つけた場合は、早めに補修を行ってください。放置すると、シート・ビニール・ネット等が強風時に飛ばされる恐れがあります。

④注意 シート・ビニール・ネットの点検

弊社取扱製品のシート・ビニール・ネット等に破れたりほつれたりしている箇所や、裂けている箇所がないか定期的に確認してください。シートの破損を放置すると、破損箇所が大きく広がったり、シート・ビニール・ネット・フレームに悪影響を与える恐れがあります。

④注意 降雨後の手入れ

雨が降った後などシートに水がたまつた場合は、シート上に水がたまらない様に、シートをピンと張るように張り直してください。水がたまつたままにすると、フレームが倒壊する原因になる恐れがあります。

④注意 交換用部材の発注について

交換用シート等のご注文は、それぞれの型番をご注文ください。部材の型番は、部材表・組立説明書に記載してありますので大事に保管してください。

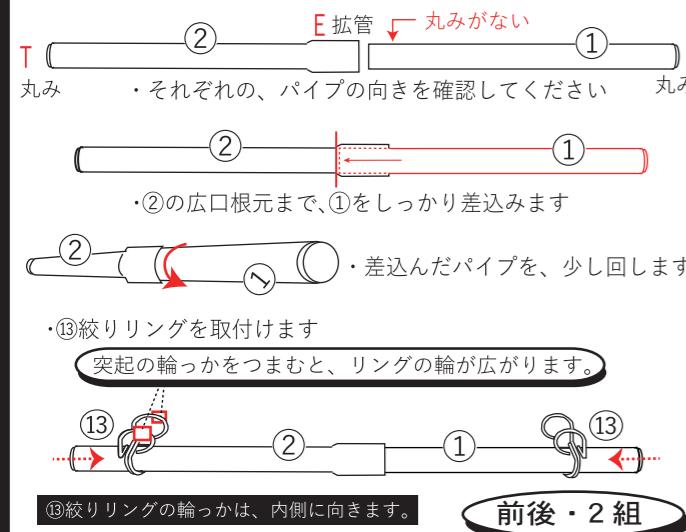
サイクルハウス3台用

組立說明書

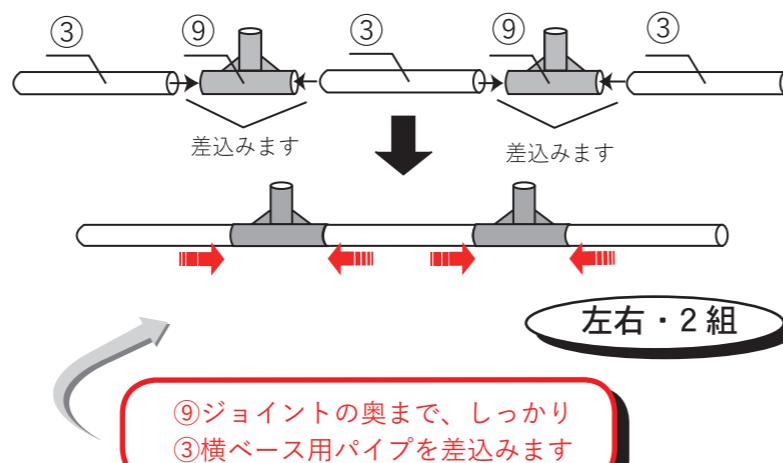
【2409】

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
正しく使用していただくことで、長持ちしますので、本品を組立てる前に部材表の裏面、『安全上のご注意』をお読みください。

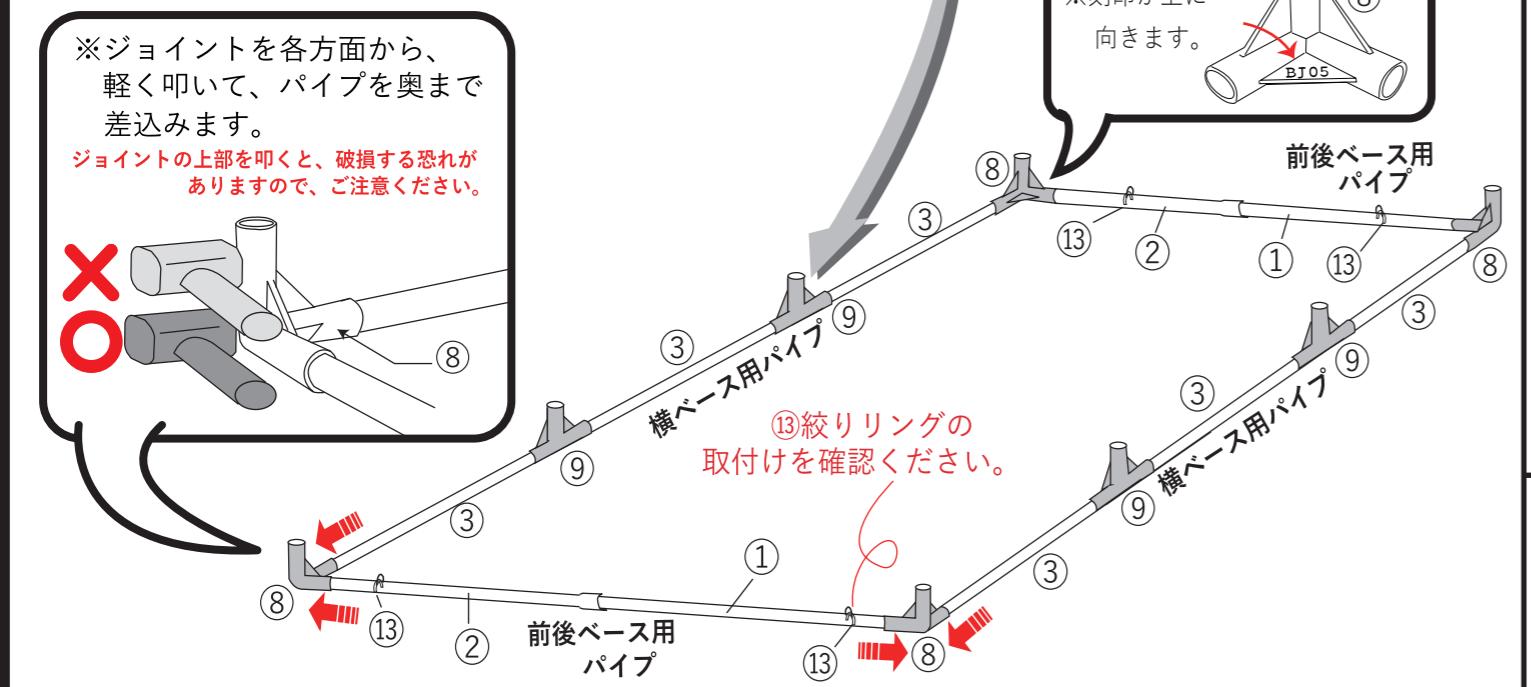
1 前後ベース用パイプを2組、組立てます



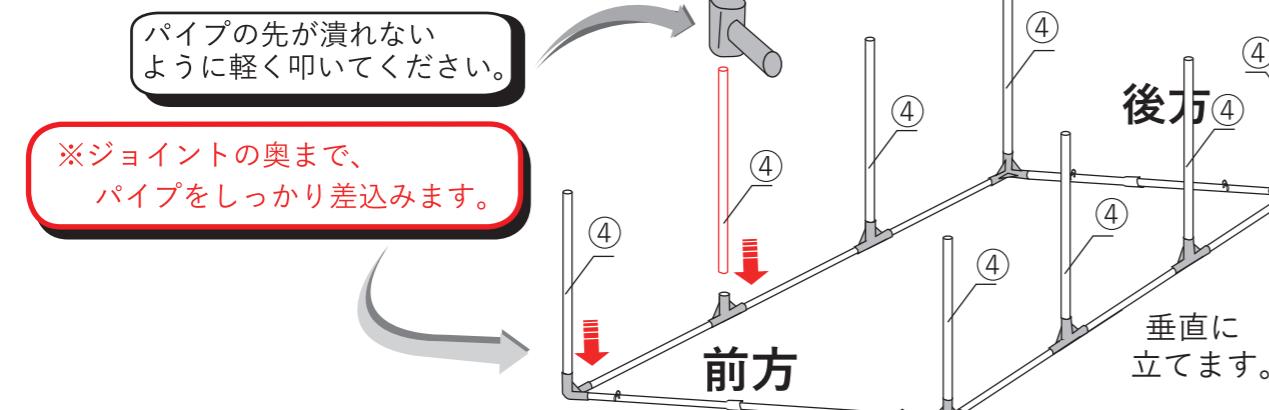
2 横ベース用パイプを2組、組立てます



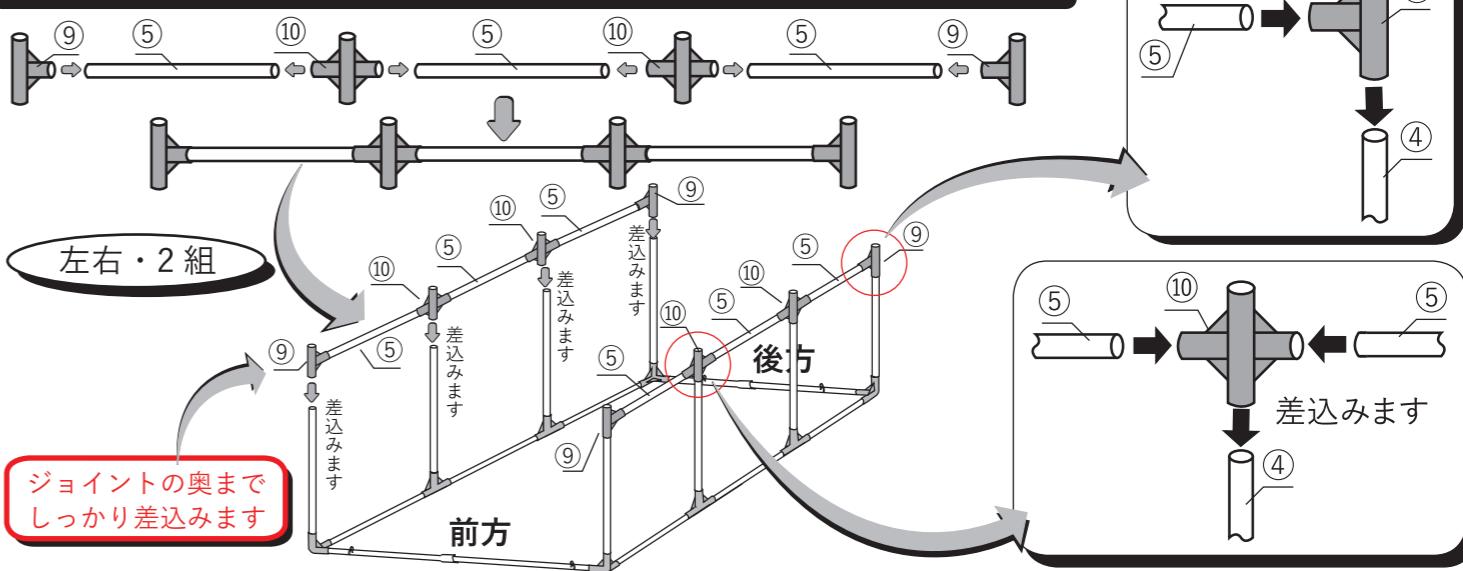
3 組立てた各ベース用パイプを、⑧ジョイントで組立てます



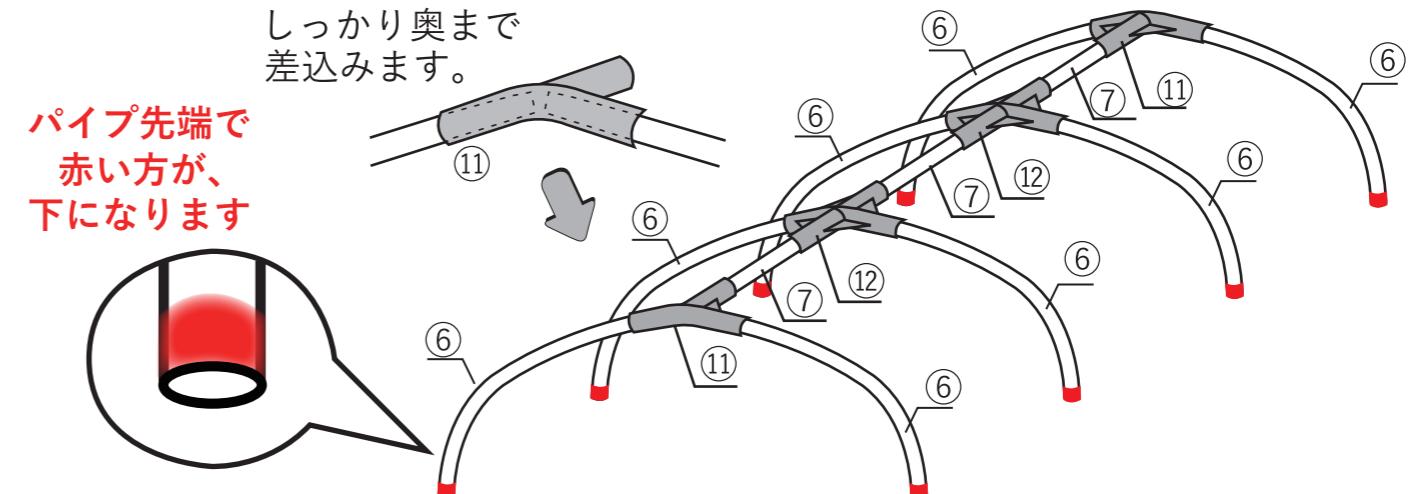
④脚用パイプを⑧⑨ジョイントに差込みます



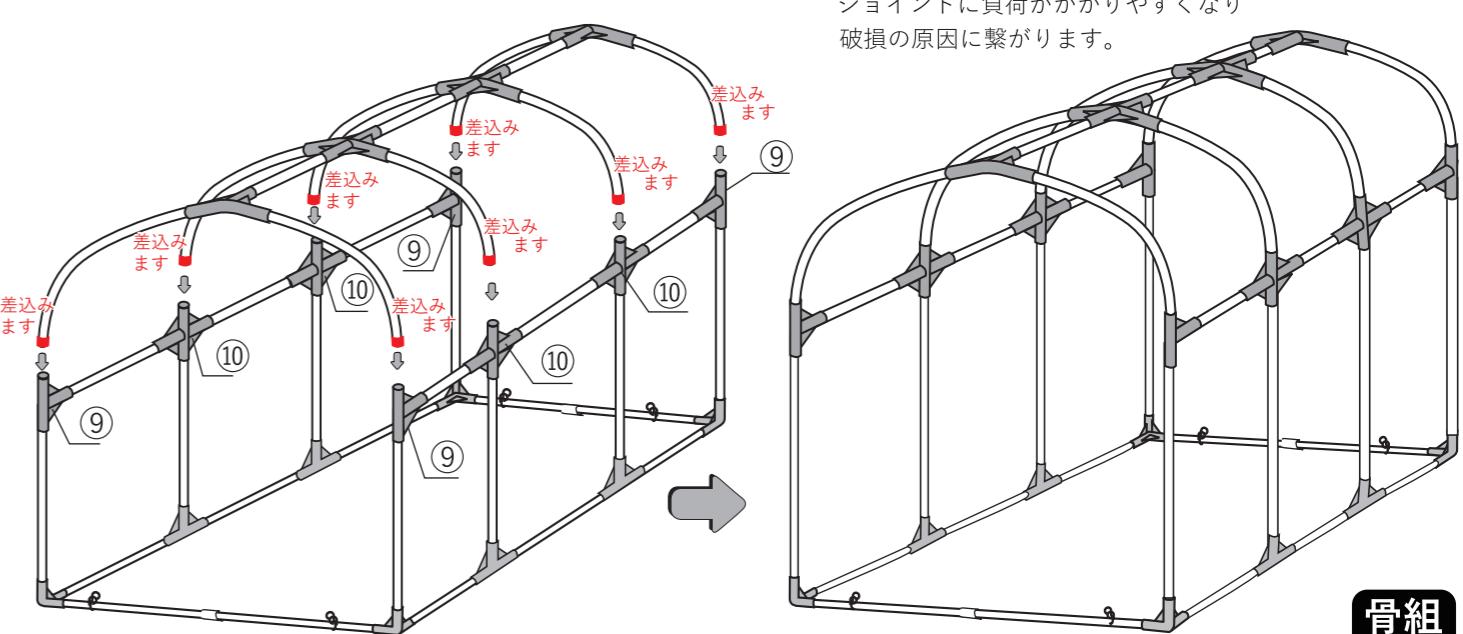
5 各ジョイントと⑤横通し用パイプを組立て、④脚用パイプに差込みます



6 ⑥アーチ用パイプ・⑦天井横通し用パイプを、⑪⑫ジョイントに差込み、天井部を組立てます

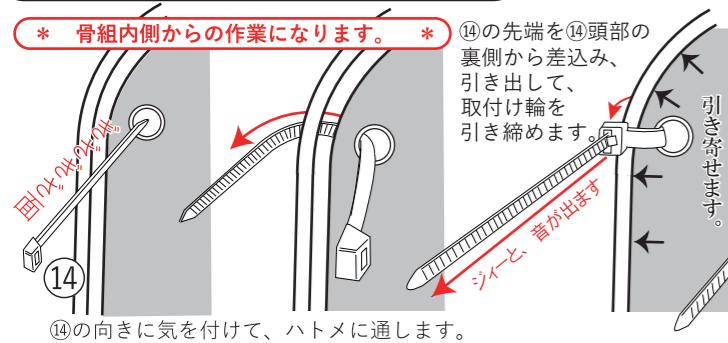


7 天井部を、⑨⑩ジョイントに差込み、組立てます

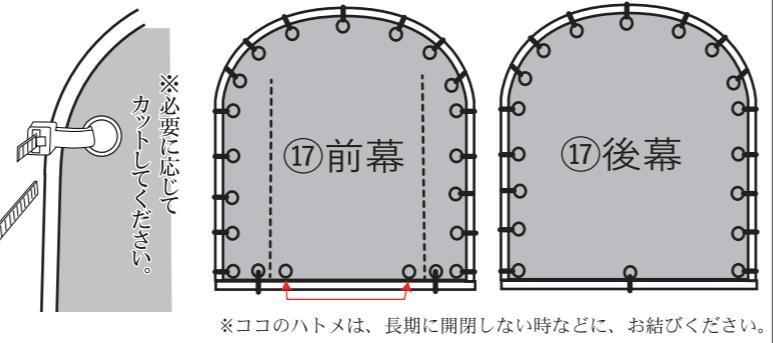


骨組完成

7 ⑯前幕・後幕を⑯で取付けます

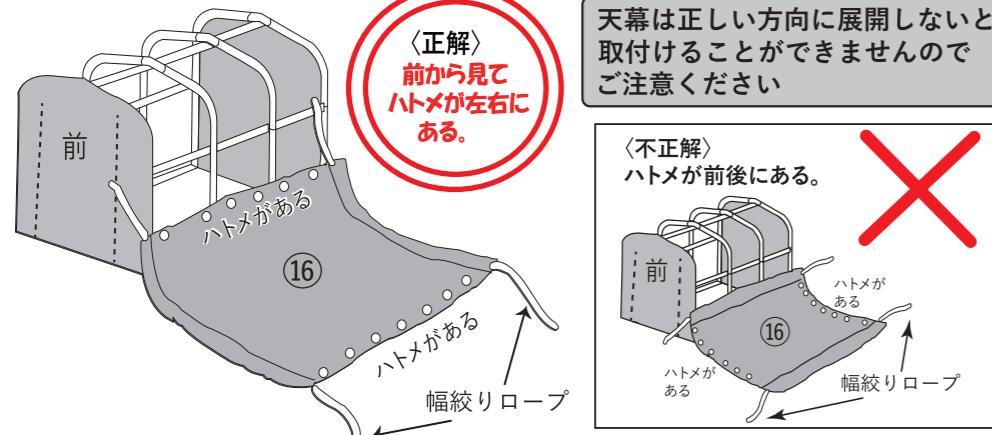


【注】カッター等をご使用の際は、お怪我をされないようお気をつけてください。
又、シートを傷つけたり、切らないようお気をつけてください。



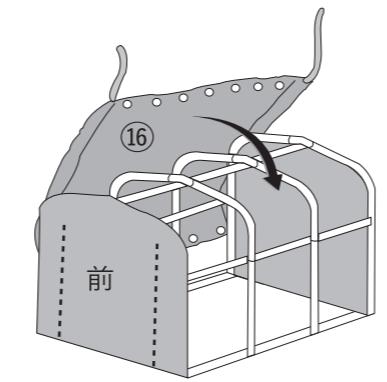
※ココのハトメは、長期に開閉しない時などに、お結びください。

8 ⑯天幕を広げ、設置方向を確認して、骨組に被せてください



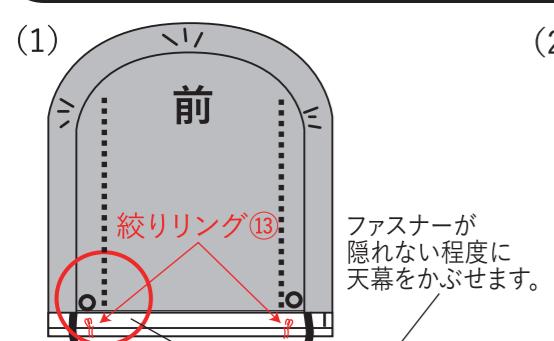
【正解】
前から見て
ハトメが左右に
ある。

【不正解】
ハトメが前後にある。

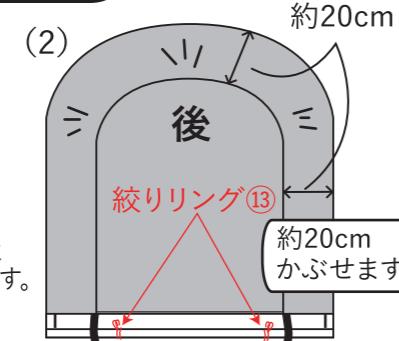


【注】
○周辺を整理して、シートにキズなどがつかない
ようご準備ください。
○シートを引きずらないようお気をつけてください。
○風の強いときは作業には適しておりません。

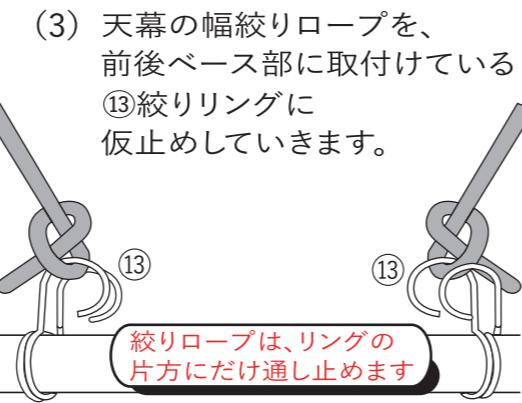
9 ⑯天幕の位置を調整し、仮止めします



絞りリング(13)
フスナーが
隠れない程度に
天幕をかぶせます。



約20cm
絞りリング(13)
約20cm
かぶせます。

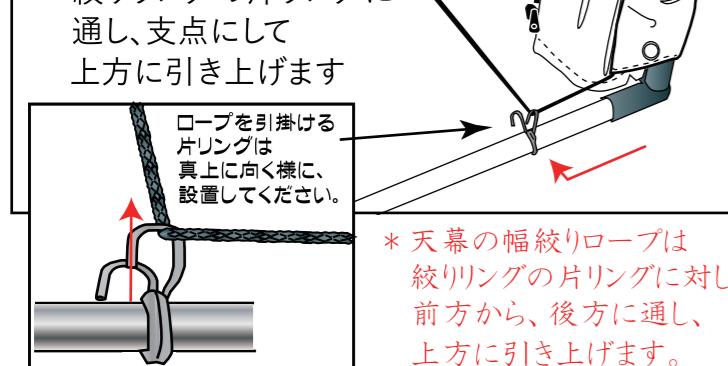


(3) 天幕の幅絞りロープを、
前後ベース部に取付けている
⑯絞りリングに
仮止めしていきます。

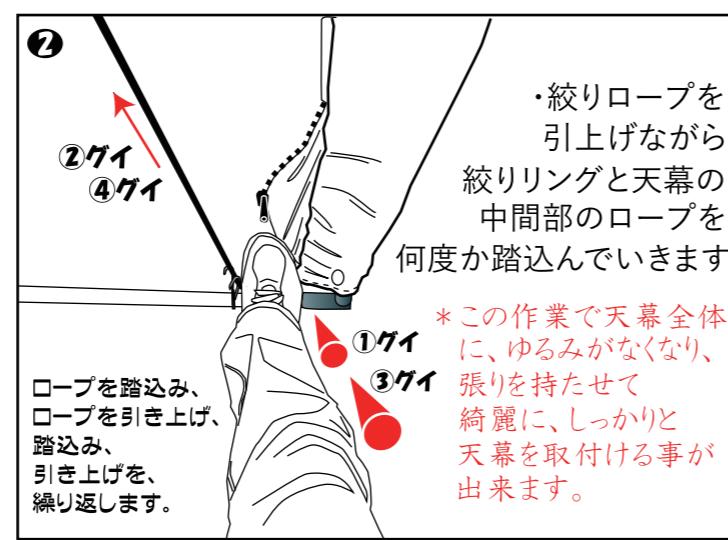
*前方の絞りリングの間隔は、広くなります。
※後方の絞りリングの間隔は、狭くなります。

10 ⑯天幕を、固定していきます

①・仮止めを外し、
天幕の幅絞りロープを、
絞りリングの片リングに
通し、支点にして
上方に引き上げます



* 天幕の幅絞りロープは
絞りリングの片リングに対し
前方から、後方に通し、
上方に引き上げます。



・絞りロープを
引上げながら
絞りリングと天幕の
中間部のロープを
何度も踏込んでいきます

*この作業で天幕全体
に、ゆるみがなくなり、
張りを持たせて
綺麗に、しっかりと
天幕を取付ける事が
出来ます。

3

“STOP”

・ある程度
絞りロープを
引上げることが
出来なくなったら
結束していきます

・絞りロープの
先端を、天幕裏側から
天幕末端のハトメに通します

4

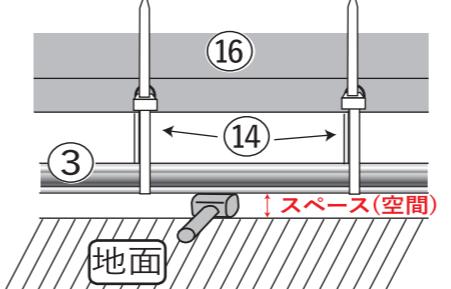
・ハトメに通した
絞りロープを
もう一度、
絞りリングの片リング
に通し、最後の
引き締めを行います

・引き上げた絞りロープを、天幕～
ハトメと往復したロープ部に巻付け
て固めます。
最後に、結び止めます。

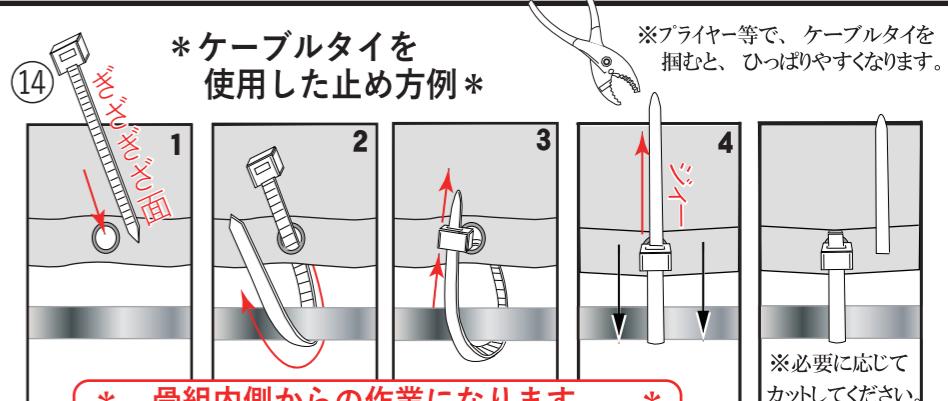


*この作業で天幕下部末端を引き下げ、
絞りロープで、横に引っ張ることで
末端の隙間を減らし、幕をさらに綺麗に張れます。

11 ⑯天幕の左右のハトメを、⑯で ベース部と結び付けます



※ベースパイプ下にハンマー等を敷くと、
スペース(空間)が取れ作業がしやすいです



*ケーブルタイを
使用した止め方例*

※プライヤー等で、ケーブルタイを
掴むと、ひっぱりやすくなります。

1
2
3
4

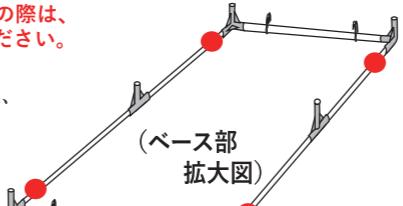
※必要に応じて
カットしてください。

1. 本体骨組の内側から、⑯を幕のハトメに通します。
2. 3. ベースパイプを抱き込んだ後、⑯の先端を、⑯の頭部裏に差込みます。
4. ⑯の先端を引き上げ、幕をパイプに引き寄せると、幕全体に張りがでます。

12 本体の固定と、取扱いに関しまして

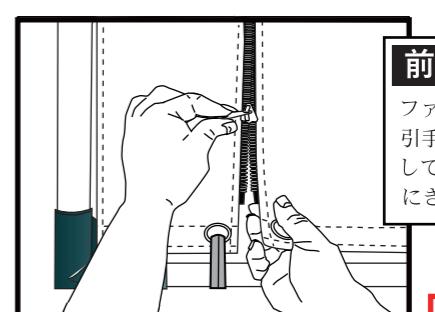
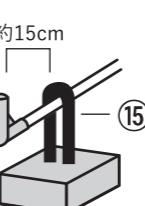
【注】⑯U字杭の打ち込み作業の際は、
十分にご注意ください。

- 設置場所が、土の場合は、
⑯U字杭(4本)を
●の所に打ち込みます。



- アスファルト等の場合は、穴を掘り、
右下図の様に各U字杭を
コンクリートで固定してください。

- 完全に固定するまでは、
必要に応じて、
ロープ等で補強してください。



前幕開閉時の取扱い

ファスナーを開ける際は、
引手を持ち、スライダーを動かして
ください。片手は片幕を
にぎり、操作してください。

幕生地を持ち、引っ張る感じ
で幕をひろげて、スライダー
を移動させると、スライダー
部に大きな負担をあたえます。

スライダーは金属部品であります
が、スライダー横部分に
大きな負担がかかり、結果、
スライダーの口幅が広がって
いき、エレメントを閉じる力
を失います。また、分解する
おそれもありますので、左図
の行為は行わないでください。

